

2021年2月4日

関係者の皆様へ

社会福祉法人 白根学園
学園長 磯貝 康正

白根学園障害者支援施設 希望における新型コロナウイルス感染者
の状況について（第3報）

障害者支援施設希望のグループホーム「ホーム希望」で発生した新型コロナウイルス感染の状況についてご報告します。

1月29日までにホーム希望で入居者4名の陽性者が判明しましたが、その後、2月2日までに同グループホームの入居者2名、近隣の障害福祉サービス事業所「工房金魚」の職員1名が陽性となりました。

この状況を受け、2月2日、保健所により、関連施設である希望・ホーム希望・工房金魚の関係利用者・職員121名を対象にPCR検査を実施したところ、新たにホーム希望の入居者1名と職員1名の陽性が判明しましたが、他は全員陰性でした。

陽性者の累計は、利用者7名、職員2名となっています。

1 陽性者の対応等について

ホーム希望の陽性入居者のうち3名は入院療養中ですが、他の4名はホーム内で隔離療養中です。またホーム希望の職員1名、工房金魚の職員1名は自宅療養中です。いずれも軽症または無症状で、他の利用者・職員に体調不良等の者は出ていません。

2 障害者支援施設 希望の運営について

皆様にはご不便をおかけしますが、引き続きグループホーム「ホーム希望」は全て閉鎖するとともに、障害者支援施設 希望及び工房金魚の短期入所利用・通所利用についても、安全が確認されるまで当面の間、休止します。

学園としては、基本の感染予防策を改めて徹底し、これ以上の感染拡大を食い止めるため、今後も保健所等関係機関と十分連携して対応してまいります。